

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年11月7日 (17:30~20:00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 小池・塚田・山本・宮澤・塚田浩・望月・木藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	5人	人	人	7人

前回の改善計画
・新規利用開始前の情報提供を速やかに行い、全スタッフ個別の情報を含め共有認識する ・本人ご家族の意向を理解しながら統一したケアを行う
前回の改善計画に対する取組み結果
・利用開始前、アセスメントシート・フェイスシートで情報収集を行い利用時は掲示してある目標を確認しながら対応している ・連絡ノート、送迎時の会話等をスタッフが共有し目標設定に活かせるようにしている ・情報共有のためにケア日誌・申し送り事項の確認をしてから業務に入っている

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	6			7
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	3	3	1		7
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	3	3	1		7
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1	6			7

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・フェイスシート・アセスメントシート・ライフサポートプラン・ケアマネジャー・ご家族からの情報提供・退院時のサマリ・ミーティング・カンファレンス等により事前に支援内容の確認周知はできている ・ケア日誌や申し送り事項はタブレットに記入し不明な点は確認してスタッフ同士共有している ・声掛けについては信頼関係が構築できるように配慮している ・連絡ノート・送迎時の家族との会話や知りえた情報を他スタッフに伝え認識の共有を図っている

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・サービス利用に慣れていない時期の声掛けや気遣いが十分ではない ・ご家族との関りが難しいと感じる時がある ・利用者に対して緊張感があり支援に余裕がない ・適切な対応ができていないのか自信が持てないことがある

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	・新規利用者さんがサービス利用に慣れるまでの接し方に配慮をする ① スタッフ同士連携をとり不安にならないよう支援をする ② 利用者本人、ご家族に積極的に聞き込みをして早い段階で生活歴等の情報収集を行い共有する ・ケアに不安がある場合はその場で他スタッフ等に確認して的確なケアに努める

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年11月7日 (17:30~20:00)
2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)	メンバー	小池・塚田・山本・宮澤・塚田浩・望月・木藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	5人	1人	人	7人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・事前準備時間の確保を行い、スケジュールに余裕をもってレクレーションの実施する ・集中カンファレンスを必要時行い、より利用者さんを「知る」努力をしていく
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・レクリエーションについては担当スタッフが中心になり詳細 (開催日時・内容・担当者) を事前に決めて負担が偏らないようスタッフ間協力体制ができている ・困難事例等は集中的にカンファレンスを行い、具体的対応を話し合い実践している

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	1	4	2		7
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	4	2		7
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1	4	2		7
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	4	2		7

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・目標設定に全スタッフが関わりそれを達成するため「何をすれば良いのか」共通認識をもって関わりを継続している ・今行っている事の効果を利用者さんがそれぞれ意識できるよう伝えながら参加してもらうようにしている ・定期的に具体的目標を確認しながら対応している 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・立てた目標が心身状況の変化等で継続しない場合があり、状態を判断するまで目標設定ができず時間がかかることがある ・目標に対して今何をすべきか考えていないことがある ・日々の業務に目が向き長いスタンスでの支援が滞ることがある ・利用者ご本人との関りが足りない 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な目標設定を全スタッフが関わって立て、利用者さんに理解していただきながら支援していく ・利用者さんおひとりおひとりとの関りを意識して行う 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年11月7日 (17:30~20:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 小池・塚田・山本・宮澤・塚田浩・望月・木藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	5人	1人	人	7人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none">利用者さん、ご家族に積極的に関わりを持ち、自宅の生活と連携したケアの提供を行う。普段の会話や入浴時の会話を大切にして、スタッフ側からの歩み寄りを図る。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none">利用者情報を得るために意識して会話を進めている入浴時、送迎時マンツーマンで接するときは利用者ご本人の思いや意向を会話の中で聞きながら対応している体調変化時はサービス支援の見直しを即行い対応できている

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		4	2	1	7
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	3	3	1		7
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	4	2		7
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	3	3	1		7
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	3	3	1		7

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">全スタッフが全業務をできるようにしているので多くの目で利用者さんを見ることができているミーティング・カンファレンス等で現心身状態の把握を行い変化の気づきに遅れないよう努めている入浴時、送迎時マンツーマンで接する時は情報を得るために意識的に会話を持つようにしている	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">本人らしさや以前の暮らしや維持できている能力を把握できていないことがある認知症の進行に伴い聞き出すことが困難な利用者が増えてきている本人らしさを尊重した視点から利用者さんを見ることが難しい	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none">生活歴や利用者ご本人の思いから以前の生活を把握して、現時点の状態と照らし合わせることできないことの整理をして、できていることに視点を置き支援していく接する中でアプローチを常に心がけ、知りえた情報の共有をする	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年11月7日 (17:30~20:00)
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	小池・塚田・山本・宮澤・塚田浩・望月・木藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	7人	人	人	7人

前回の改善計画	・利用者、家族とコミュニケーションを取り、地域活動の情報を収集して、必要時参加の促しを図る。
前回の改善計画に対する取組み結果	・地域活動も徐々に以前に戻りつつあるが、行事等は減少がみられ、利用者ご家族共に参加は少ない ・ご近所さんの訪問も少しはあるが、世間全般にコロナ感染以降消極的感が強い ・運営推進会議で話題になったことはミーティングで報告している

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	5	1		7
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	4	2		7
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1	5	1		7
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		4	1	3	7

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネジャーが家族、民生委員と連携を取り、地域包括支援センターとの関りを構築しミーティング・カンファレンスで共有しできるだけ意向に沿った支援は出来ている ・送迎時ご家族から普段の様子をお聞きしている ・訪問業務は、なんでもやるのではなくご家族と役割分担してご家族がご本人との関わり部分を保つようにしている さらに来客の様子や近所との関り室内の変化等確認している 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源を知ろうとする努力にかけている ・利用者、ご家族も以前のような地域近隣への訪問はあまり行っていない さらに新たな関わりを地域(住民、団体)に求めることは、心身状況が徐々に低下していくことを考慮すると困難かと考えられる ・介護保険利用が始まると支援に入る段階で地域との関わりが希薄になる利用者も散見されている 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源の知識を得る-運営推進会議で地域課題を話題にする ・インフォーマルサービスの利用を進め地域との繋がりを持つよう支援する 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年11月7日 (17:30~20:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 小池・塚田・山本・宮澤・塚田浩・望月・木藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	5人	人	人	7人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・多機能部分のサービスを十分に活用し、利用者、家族にバランスの良い生活を提供する ・感染（コロナ・インフルエンザ）が落ち着いたら、外出・買物・外食等自粛していた支援を再開する
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者、家族の状況変化時や突発的な支援に対しては、サービスを柔軟に変更して提供出来ている ・ミーティング・カンファレンス・日々の気づき等で、ご本人の変化については全スタッフ共有出来ている ・状況変化に対しては日々リーダーの指示・申し送り事項等で確認し対応方法等臨機応変にできている ・感染状況を見ながら外出・買い物等の支援はできたが、外食はまだ再開していない

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	2	4	1		7
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	5	2			7
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	3	3	1		7
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	3	3	1		7

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・多機能を活用して急な変更依頼も可能な範囲で対応変更出来ている-特に曜日変更の希望が多くあるがほぼ対応している ・ケア日誌に「いつもと違う」気づきを大切に記入するようにしている ・他事業所（包括支援センター・法人内外）との情報交換も含め連携できている 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ケア日誌に記録漏れがあり認識不足が発生することがある ・地域の資源活用はできていない 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・多機能部分のサービスを十分に活用し、利用者、ご家族にバランスの良い生活を提供する ・外出・買物・外食等ニーズに応じて柔軟に対応していく 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年11月7日 (17:30~20:00)

6. 連携・協働

メンバー 小池・塚田・山本・宮澤・塚田浩・望月・木藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	6人	1人	人	7人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・たわわカフェの再開をして、地域に周知して継続を図る ・障害者施設との連携を図り協力継続をして行く
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・何度かタイミングを見てたわわカフェの再開を検討したが、現時点では感染リスクや参加者の意向等考慮して再開できていない ・障害者施設との連携(アルミ缶回収・物資の購入・斡旋)は継続している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	7				7
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	7				7
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?			1	6	7
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	7				7

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネジャーが外部機関との連携は図っている。オンライン会議・研修を活用することもある ・地域のボランティアさんの受け入れは多くできて、定期的な開催を依頼している ・小多機連絡会・三輪地区ケアマネ連絡会等参加する機会が増えてきている ・スタッフの外部研修の参加もできるようになり、交流が持たれ良い刺激になっている ・ご近所の方の訪問や地域のボランティアさんの訪問は継続 利用者家族・兄弟の訪問もある 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の行事等の参加はできていない ・施設内での活動に留まり外部に目が向いていない 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・地域ボランティアさんの定期的訪問の受け入れをして良好な関係作りを継続していく ・障害者施設との連携を図り協力継続をして行く 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年11月7日 (17:30~20:00)

7. 運営

メンバー 小池・塚田・山本・宮澤・塚田浩・望月・木藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	6人	1人	人	人	7人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none">地域の拠り所になるという意識を全スタッフが持ち、どうしていけばよいのか考える。安定した運営(利用者数の確保・予算にあった事業収入・適正な運営を行えるスタッフ人数の確保等)を目指す。特に重度認知症状の対応で無理のない働き方が出来るような人員確保をする。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none">感染終息の認識が持てないためコロナ禍後地域の拠り所という意識はなかなか持ちづらいため考えが及ばない感がある運営では、利用者数の確保・事業収入は安定している 介護度も徐々に高くなり認知症対応も重度化したスタッフがレベルアップもでき対応に大きな問題はないスタッフの人員確保はできている

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?	1	5	1		7
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	5	2			7
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	6	1			7
④	地域に必要なとされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	1	1		5	7

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">苦情自体あまりない。発生した場合話をきちんとお聞きしてスムーズに対応するように心がけ、スタッフが共有して改善点を提案し運営に反映しているミーティング・カンファレンスでは、自分が考えている事・感じている事等を自ら発信出来ているミーティングや日頃の会話の中で発信しやすいようにスタッフがお互い気配りをしている

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">地域との関わりが持てない状況の中「地域の中の介護施設」という意識が持ちづらい状況が続いている未だ感染のリスクがあるので内部から外部への働きかけに躊躇する気持ちがある

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<ul style="list-style-type: none">安定した運営(利用者数の確保・予算にあった事業収入・適正な運営を行えるスタッフ人数の確保等)を継続する 特に重度認知症状の対応で無理のない働き方が出来るような人員配置をする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年11月7日 (17:30~20:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 小池・塚田・山本・宮澤・塚田浩・望月・木藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
前回の課題について取り組みましたか?	7人	人	人	人	7人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 介護スキルがレベルアップできるような研修会(外部研修)に参加する。 全スタッフ同じ質のケアが提供できるように手順・声掛け等統一したケアを行う
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 外部研修は徐々に参加できている オンライン研修の活用もできている 年間の内部研修については計画通りできている 基本的必須研修は今年度中に実施できる ケアの統一が必要と判断した場合はリーダーや指導育成スタッフがマンツーマンで指導している

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	7				7
② 資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	6	1			7
③ 地域連絡会に参加していますか	7				7
④ リスクマネジメントに取り組んでいますか	7				7

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"> リスクマネジメントについては、ヒヤリハットや介護事故の事例をミーティングで全スタッフ共有し、再発防止に努めている 地域の連絡会(ケアマネ)や小多機連絡会に参加できている 内部研修は必須研修とその時必要な事柄をテーマにして開催している

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"> 外部研修参加は参加人数が少なかった

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<ul style="list-style-type: none"> スタッフ個人別にスキルの確認をしてキャリアパスガイドライン評価・育成プログラム等活用してケアの充実を図る 全スタッフ同じ質のケアが提供できるように手順・声掛け等統一したケアを行う

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年11月7日 (17:30~20:00)

事-⑧

9. 人権・プライバシー

メンバー 小池・塚田・山本・宮澤・塚田浩・望月・木藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	6人	1人	人	人	7人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止・身体拘束適正化学習を行い、意識しながら業務をしていく ・高齢者の尊厳を守ることや法令順守を職場全体で意識していく
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・常に意識をして対応している ・馴れ合いにならない様スタッフ同士他者の目を通しての確認をするように心がけている ・特に訪問業務時・送迎時は個人情報に関わる書類はバックに収納して保持し、移動の時は必ず持ち運ぶようにしている

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	5	2			7
②	虐待は行われていない	4	3			7
③	プライバシーが守られている	6	1			7
④	必要な方に成年後見制度を活用している					
⑤	適正な個人情報の管理ができている	4	3			7

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束、虐待は行っていない ・個人情報の管理は施錠出来る場所に収納保管している ・PC、タブレットはパスワード管理し、情報漏洩に気をつけている ・成年後見制度活用に該当する利用者は現時点ではないが、今後必要になりそうな方には検討していただくように情報提供・説明をしてある 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・時間的に余裕が無い時や他利用者の近くでの排泄介助誘導や声がけにもう少し配慮が必要な時がある ・利用者さんに対して「馴れ」～意識低下になってしまう時がある 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止・身体拘束適正化学習を行い、常に意識しながら業務をしていく ・必須研修項目なので内部研修を行い、見直し、振り返りの機会を持つ 	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

令和6年度（2024年度）

法人名	NPO 法人ワークス コープかがやき	代表者	風間 隆治	法人・ 事業所 の特徴	「わが家で暮らし、わが家で老いる」を私たちの想いにして、ご利用者様ご家族様の意向をくみ取り、スタッフが関わりをより多く持ち、個別ケア対応で支援させていただきます。 ご利用者様の心身の変化に気づきスムーズに対応できるようスタッフ間の連携を図り情報共有に努めています。施設内ご利用者様が「居場所」「役割」を意識できるよう、居心地の良い場所の提供を心掛けて取り組んでいます。
事業所名	小規模多機能型居宅介護 たわわ善光寺下	管理者	片岡 茂子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	2人	2人	人	1人	1人	人	1人	人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> 現時点で実行可能で、かつ、改善必要な事を具体的な計画にする。 	<ul style="list-style-type: none"> 出来ている点も多くあり年数を重ねる中で再度繰り返し確認していくことが大事。 出来なかったことをそのままにせず、引き続き評価目標にしていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 改善点を出し合い意識共有することに個人評価の意義があるので真摯に向き合いたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 実行可能で、かつ、改善が必要な事を具体的計画にする。 同じ意見・反省が出ない様改善点を意識して業務を行う。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> 事業所周辺の清掃やガーデニングを行う。 日中多くの時間を過ごすフロアに季節感を出していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 担当者を中心に季節を感じる壁画等工夫して殺風景にならないようにしている。今年も外出がなかなかできなかったので皆で関わりながら作品作りを楽しんだ。 施設の周りは常にきれいにしよう心掛けている。利用者さんが足を止めてプランターの花や植木を鑑賞して話が盛り上がることもある。 	<ul style="list-style-type: none"> 日中は玄関の施錠はしていない換気も兼ねながら玄関ドアを全開にしている時期もある。 臭いに関しては換気も含め排泄処理等スタッフ全員で充分気をつけている。 	<ul style="list-style-type: none"> 居場所として「気持ちの良い空間」の提供をしていく。 日中多くの時間を過ごすフロアに季節を感じてもらえるような工夫をしていく。
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> 地域の方の訪問やボランティアさんの受け入れをしていく。 単独支援困難なケースは利用者担当の地域包括支援センターと連携して支援をしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域ボランティアさんの受け入れは通年通しての受け入れ態勢に戻った。定期的受け入れのボランティアグループも定着している。 地域包括支援センターとの連携を強め困難事例や虐待事例等積極的に関わり対応をしていくようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 日々の業務が施設内で完結することが多いが、今後は外出も含め地域との関りを多くしていきたい。 買い物支援の希望は通い時スタッフ同行で行っている 今後も続けていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の方の訪問やボランティアの受け入れをしていく。 単独支援困難なケースは利用者担当の地域包括支援センターと連携して支援をしていく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> 感染予防に留意しながら以前の生活に戻るよう工夫をしていく。 馴染みのある近隣の地域に出かけていき、買い物・外食・散歩等行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 散歩は天候を見ながら近隣を短時間少人数で行った。良い気分転換になっている。 外食に対しては秋に企画したが新型コロナウイルス・インフルエンザ感染拡大の期間が長く実施できなかった。 利用者さんはたわわに通いで家を出ること自体が良い刺激になっているので、通院以外の外出先との位置づけになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域密着施設なので近隣在住の利用者さん優先にご利用をいただいている。 ご近所の独居生活をしている高齢男性宅には時折訪問して様子をお聞きしたり、外出の帰宅時施設に寄ることもあるので状況・安否確認をしている。体調不良時親族に連絡を取る等支援を継続中。 	<ul style="list-style-type: none"> 外出・外食・買い物等 日常生活にメリハリをつけていけるような支援をしていく。 通い時気候の良い時に近所の散歩をする。

<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議時、地域の困りごとについての話し合いの時間を設ける。 ・地域の情報収集の場しながら、何か支援できることがあれば協力していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議の提案や意見は定期ミーティングやスタッフの会話の中で話題にして、今後活かせるようにしている。 ・地域の困りごとや状況について会議の話題にはなるが、検討しても解決策までは行かないことが多い。共有は出来るだけ図るよう努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議の開催は2か月に1回定期的開催ができた。 ・包括支援センターからの紹介で新規利用に繋がるケースが今年も多くあった。今後も連携して支援を継続していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議時、地域の困りごとについての話し合いの時間を設ける。 ・運営推進会議にスタッフも参加し、会議の内容等を全スタッフで共有していく。
<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・BCP（事業継続計画）の研修会等で全スタッフの意識統一を行う。 ・災害時における地域の支援体制の確認を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・BCPの策定は完了 スタッフの周知もミーティングや研修で行った。今後も引き続き緊急時・災害時の対応についての周知が必要なので研修会の開催をしていきたい。 ・地域との協力体制も考えていかないといけないと思うので、地区役員さんと連携を取っていくことが今後の課題。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフは避難訓練の方法や消火器の使い方や消火を実際に行い良い研修になった。 ・避難訓練はいざという時大事なので定期的に行うようにしていく必要がある。 ・夜間想定訓練を計画し実施していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・BCP（事業継続計画）の研修会等で全スタッフの意識統一を行う。 ・年2回避難訓練の実施をする。

